

泌尿器科紀要

**Acta
Urologica
Japonica**

Vol. 37, No. 9 September 1991

ACTAUROLOGICAJPN

ACTA UROLOGICA JAPONICA

Editor: Osamu Yoshida

Deputy Editor: Hideo Takeuchi

Advisory Committee

Yoshio Aso,
Hiroshi Tazaki,
Shigeru Miyazaki

Yoshiaki Kumamoto,
Masanobu Maekawa,

Takao Sonoda,
Toyohei Machida,

Associate Editors

Tadashi Ohkawa,
Kenkichi Koiso,

Seiichi Orikasa,
Tadao Tomoyoshi,

Jouichi Kumazawa,
Hiroki Watanabe

Editorial Board

Hideyuki Akaza,
Shoichi Ueda,
Yoshitada Ohi,
Akira Ohsawa,
Kazuo Ohtaguro,
Takahiro Oka,
Yusaku Okada,
Akihiko Okuyama,
Takashi Katayama,
Tsuneo Kawai,
Juichi Kawamura,
Tadao Kiriyaama,
Kenjiro Kohri,
Yosuke Komatz,
Yutaka Saitoh,
Tsutomu Sakurai,
Masafumi Shirai,
Hiroyoshi Tanaka,
Masayoshi Tsuchida,
Hiroshi Nakamura,
Taiji Nishimura,
Yoshihiko Hirao,
Masahiro Matsushima,
Teruo Mishina,
Kohji Miyake,
Ryuichi Yatani,
Hidetoshi Yamanaka,

Masao Akimoto,
Toyofumi Ueda,
Kenji Oishi,
Shinichi Oshima,
Yoshiyuki Ohno,
Eigoro Okajima,
Shigehiro Okamoto,
Susumu Kagawa,
Tetsuroh Katoh,
Yukimichi Kawada,
Nobuo Kawamura,
Takashi Kurita,
Ken Koshiba,
Tomohiko Koyanagi,
Yasunosuke Sakata,
Yoshiaki Satomi,
Akio Segawa,
Taiji Tsukamoto,
Hiroshi Toma,
Yorio Naide,
Eiji Higashihara,
Masahiko Hosaka,
Yosuke Matsumura,
Mieko Miyakawa,
Kazuoki Miyazaki,
Sunao Yachiku,
Hirohiko Yamabe

Fumihiko Ikoma,
Tsuguru Usui,
Hiroshi Ohe,
Hiroyuki Oshima,
Hiroyuki Ohmori,
Kenichiro Okada,
Akimi Ogawa,
Tadao Kakizoe,
Tadao Kamidono,
Kazuki Kawabe,
Takeshi Kawamura,
Masaaki Kuwabara,
Toshihiko Kotake,
Atsuo Kondo,
Jisaburo Sakatoku,
Jun Shimazaki,
Ikumasa Takenaka,
Ryuzou Tsugawa,
Teruhiro Nakada,
Yasunori Nishio,
Haruo Hisazumi,
Fujio Masuda,
Makoto Miki,
Ikuo Miyagawa,
Yoshinori Mori,
Tamio Yamauchi,

Managing Editor: Takayuki Hashimura
Secretary: Ken Ohta

Language Editor: Sumiko Kaihara

(1991. 6.)

購 読 要 項 (1991年7月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料10,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都 5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ泌尿器科紀要刊行会宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投 稿 規 定 (1991年3月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。原著、症例報告などは他の雑誌に発表されたことのない内容でなくてはならない。
 - (1) 総説、原著論文、そのほかの普通論文の長さは、原則として、刷り上がり本文5頁(400字×20枚)までとする。
 - (2) 症例報告の長さは、原則として、刷り上がり本文3頁(400字×12枚)までとする。
 - (3) 和文原稿はできるだけワープロを使用し、B5版用紙に20字×20行、横書きとする。年号は西暦とする。文中欧米語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め(ただし、文節の始めにくる場合は大文字)、明瞭に記載する。
 - (i) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名(教授、部長、院長、科長、医長など)、著者名の順に和文で記載する。筆頭者名と、2語以内の running title を付記する。
例：山田、ほか：前立腺癌・PSAP
 - (ii) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に、標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文(250語以内)の順にB5版ダブルスペースでタイプする。別にその和訳をつける。ワープロ原稿可。
 - (4) 英文原稿はA4版用紙にダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、Key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録本文の順に記した和文抄録を付記する。
 - (5) 図、表は必要最小限にとどめ、普通論文では図10枚、表10枚まで、症例報告では図5枚、表3枚までとする。
図、表、写真などはそれぞれ台紙に貼付し、それらに対する説明文は別紙に一括して一覧表にする。説明文は英文を原則とする。原稿右欄外に挿入されるべき位置を明示する。写真はトリミングし、図・表は誤りのないことを十分確認のうえ、トレースして紙焼したものが望ましい。様式については本誌の図・表を参照する。写真は明瞭なものに限り、必要なら矢印(直接写真に貼付)などを入れ、わかりやすくする。
- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所文献番号を本文の文脈順に入れる(アルファベット順不可)。その数は30までとする。
例：山田^{1,3,7)}、田中ら^{8,11-13)}によると…

雑誌の場合 — 著者名(3名まで、それ以上のときは「ほか」「et al.」とする)：標題、雑誌名 巻：最初頁-最終頁、発行年

例 1) Kälble T, Tricker AR, Friedle P, et al.: Ureterosigmoidostomy: long-term results, risk of carcinoma and ethiological factors for carcinogenesis. J Urol **144**: 1110-1114, 1990

例 2) 竹内秀雄, 上田 眞, 野々村光生, ほか：経皮的腎砕石術(PNL)および経尿道的尿管砕石術(TUL)にみられる発熱について。泌尿紀要 **33**: 1357-1363, 1987

単行本の場合 — 著者名(3名まで、それ以上のときは「ほか」「et al.」とする)：標題、書名、編集者名(3名まで、それ以上のときは「ほか」「et al.」とする)、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

例 3) Robertson WG, Knowles F and Peacock M: Urinary mucopolysaccharide inhibitors of calcium oxalate crystallization. In: Urolithiasis Research. Edited by Fleish H, Robertson WG, Smith LH, et al. 1st ed., pp. 331-334, Plenum Press, London, 1976

例 4) 大保亮一：腫瘍病理学. ベッドサイド泌尿器科学, 診断・治療編. 吉田修編. 第1版, pp. 259-301, 南江堂, 東京, 1986

- (7) 原稿は, オリジナル1部とコピー2部(図, 写真は3部ともオリジナル)を書留で送付する. 万一にそなえて, コピーを手元に控えておくこと.
- (原稿送付先) 〒606 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎 301号 泌尿器科紀要刊行会宛
- (8) 論文の採否: 論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される. ただし, シンポジウムなどの記録や治験論文については編集部で採否を決定する.
- (9) 論文の訂正: 査読審査の結果原稿の訂正を求められた場合は, 40日以内に, 訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて, 編集部宛送付すること. なお, Editor の責任において多少字句の訂正をすることがある.
- (10) 校正は著者による責任校正とする. 著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する.
- (11) 投稿にあたっては, 本誌を十分参考にして体裁を守ること.
3. 掲載
- (1) 論文の掲載は採用順を原則とする.
- 迅速掲載には迅速掲載料を要する. 5頁以内は30,000円, 6頁以上は1頁毎に10,000円を加算したものを申し受ける.
- (2) 掲載料は1頁につき和文は5,500円, 英文は6,500円, 超過頁は1頁につき7,000円. 写真代, 凸版, トレース代, 別冊, 送料などは別に実費を申し受ける.
- (3) 薬剤の効果, 測定試薬の成績, 治療器機の使用などに関する治験論文および臨床統計については, 掲載料を別途に申し受ける.
4. 別冊: 実費負担とし, 著者校正時に部数を指定する.

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (less than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer・PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details refer to a recent journal.